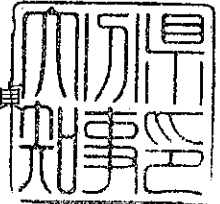




道第 110-1 号  
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 殿

大分県知事 広瀬 勝卓



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（提出）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった標記の件について、  
別紙のとおり提出します。

担 当

大分県 土木建築部 道路課 企画調査班  
大分県大分市大手町3丁目1番1号  
TEL:097-506-4577  
E-mail:a17100@pref.oita.lg.jp

## 大分県知事の意見

### ①重点化を進める上で特に優先度の高い政策

本県では、九州縦貫自動車道の全線が供用している西九州と比べ、東九州自動車道などの整備が大幅に立ち遅れており、戦略的に企業誘致などを実現するため、今後概ね10年間で高速交通体系を完成させたいと考えている。

また、移動手段を自動車に依存する地域が多い本県では、生活に密着する国道・県道の整備が遅れており、災害時の通行止め、渋滞、交通事故等により県民は多大な不便と不安を強いられている。

このため、高速道路をはじめ、市町村合併を支援する道路、災害に強い道路などの整備を県政の最重点課題として取り組み、県民の期待に応えたいと考えている。

### ②効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

九州地方整備局では、事業中の箇所のうち、用地買収の目途がつくなど、今後5年間に供用が可能な箇所について、供用目標年度の公表するとともに、選択と集中による道路整備のスピードアップを図る「ちやくちやくプロジェクト」に取り組んでいる。本県は、この取り組みは大変評価しており、個別の事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理を徹底することは大変重要であると考えている。

### ③その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

政府・与党は「道路特定財源の見直しに関する具体策」の中で、平成19年中に、今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画を作成するとしているので、この計画の中に次の提言を全面的に盛り込むよう要望する。

- ・九州知事会の緊急提言「今後10年間に6兆円必要」(平成18年5月)
- ・大分県の緊急提言「今後10年間に7000億円必要」(平成18年10月)

地方においては、道路の果たす役割は大変重要であり、道路整備が遅れている状況の中で、道路整備の財源がきちんと確保できるかどうか心配である。このため、国および地方が取り組む道路整備の財源をしっかりと確保する制度を維持すべきであると考えている。